

民児協 あこう



広げよう 地域に根ざした 思いやり

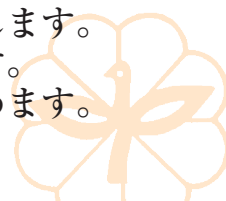
第 49 号 平成 28 年 秋号



民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会



退任を迎えて



赤穂市民生委員
児童委員協議会
副会長 木村繁満

平成十三年に民生委員児童委員となり、早いもので十五年の歳月が過ぎました。その間いろんな方々と交流し、よい人生経験をさせていただきました。今後は地域の一員として福祉サービスに少しでも支援したいと思っております。退任にあたりみなさまのご健康とご活躍を祈念し退任のあいさつといたします。

みなさん、
ありがとうございます
ございました



赤穂市民生委員
児童委員協議会
副会長 涌元雅代

民生委員を務めて三十年、今期で卒業です。その間色々な良い人との出逢いがあり、楽しい年月でした。丁度中間点位の時、ガン告知を受け、頭の中が真っ白に！術後、外に出られず二ヶ月以上、病室暮らしを経験しました。ドクターの励ましの言葉、「一隅を照らす人になるんだろ！話を聞いてあげる事でも委員は務まるよ！」また、すすめて下さる人がいてヘルパー二級も取得し、介護にも目を向けました。ドクターと婦長の言葉、優しさで今日まで頑張れたのかも…と思います。職員、民生委員、推進委員さんありがとうございました。

活動を振り返って

老人福祉部会

高齢化が急速に進む中で老人福祉部会では活動方針を「高齢者虐待について」「高齢者の詐欺被害について」を掲げ、意見交換し、また各関係機関より講師を招いて研修を行いました。講義事例の中で被害の多さに驚きました。学習したことを日頃の活動の中に生かしながら取り組んでいます。また、部会活動の一つとして「在宅100歳以上の友愛訪問」の実施です。毎年部員の協力で記念品を制作しそれを手に訪問しています。毎年顔ぶれは変わりますが、同じ人に出会えるとほっとして勇気ももらえます。3年間活動にご協力頂きありがとうございます。



障がい者福祉部会

障がい福祉部会の活動を振り返ると、大きく分けて次の事項に集約されます。

- 1、「精華園祭」に参加、お手伝い
毎年5月に保護者会が主催する祭りの各出店に部会員が12名参加し、関係者から感謝される喜びを味わいました。
 - 2、部会研修として施設見学や体験学習
三木市の防災センターで地震車で震度7の体験、真つ暗闇の通路を避難体験など今後の教訓となり、視覚障がい・身体障がい者の疑似体験は身をもって大変さを実感しました。
 - 3、グラウンドゴルフ大会に参加
障がい者協会主催に部会員が参加し、障がい者の人たちと和気あいあいと楽しくプレーをすることが出来ました。
- 3年間活動にご協力いただき有り難うございました。



児童福祉部会

平成25年12月1日からスタートした各福祉部会等の活動が、11月30日をもって1期3年の区切りを迎えました。部長、主任児童委員に3年間の活動内容、感想などを寄せていただきました。

民生委員児童委員と主任児童委員合わせて111名で赤穂市民生委員児童委員協議会が構成されています。その中に児童福祉部会があり研修の一つとして施設を見学しました。多目的室、遊戯室、図書室を備え指導員が配置された「赤穂東児童館」。赤穂すこやかセンター内にある、心身の発達について支援が必要な就学前児童に対する日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練をする「あしたば園」。保護者のない児童、虐待されている児童など、環境上養護を要する児童を入所させる「アミニティホームム光都学園」を見学させて頂きました。いろいろな支援や養護の必要な人に必要な施設が整備されていることを学びました。



アミニティホーム光都学園

広報部会

広報部会では、「民児協あこう」を多くの市民の皆様に見ていただき、民生委員・児童委員の活動などを知っていただくことを目標に、取り組んできました。より良い広報紙を作るため、小野市へ行き、記事の内容、紙面づくりなどについて意見交換し、小野市の民生委員広報担当者との研修をしました。全国的にも民生委員の広報紙を発行している市町村は数が少ないようなので、誰にも見てもらえるような明るく楽しく見やすい広報紙を発行するように、次号から担当者が一部変更になります。民生委員制度創設100周年を迎えることとなりますが、行政、福祉関係へのつなぎ役としての活動をこれからもお知らせしていきます。



小野市との研修

三年間を振り返って

主任児童委員

主任児童委員として、五人仲良く、楽しくにぎやかに、有意義な活動ができた三年間。

特に、児童館活動では、月毎に四児童館を廻り、手遊び、絵本読み、手作りおもちゃを作り、若い

お母様方の子育ての大変さや悩みを聞き、楽しい子育て期を過ごすためには何かできることはないかと考える機会となりました。また、各地区の民生委員児童委員との連携、協力のもと、児童問題の解決に奔

走して頂き、課題の改善に繋がったと感じています。今後とも、各関係機関との情報交換を密に行ない、健やかな青少年の育成と安心な街づくり而努力していきます。



子育ての結果はいつでるかわからない

幼少期、実家の母から本だけは与えられ、毎月たくさんの絵本を読み聞かされて育ちました。おかげで私は本好きになり、絵本や書籍の中で自分の世界が広がることに楽しみを見出すことができました。

母に買ってもらった5,000冊以上の本を持って嫁ぎ、母が私にしてくれたように、2人の息子にも毎晩のように読み聞かせをしましたが、残念ながら息子たちは本好きには育ちませんでした。

ところが先日、引越しの片づけで息子たちが好きだった絵本『三びきのやぎのがらがらどん』が出てきました。長男は「おれ、この本大好きやったんや〜！ トロルがこわかったな〜」と懐かしそうに手にとって読んでいました。トロルというのは本の中に出てくるこわい化け物。「早く寝ないとトロルがやってくるよ」と、息子たちを寝かしつけたものでした。その頃から20年以上も経ってそんなうれしいことばを聞いて心が温まりました。そのとき結果は出なくても、長い時間たって報われることがあると信じて子育てをしてくださいね。

編集後記

11月末で、民生委員児童委員、主任児童委員の一期(3年)の任期が終わります。「民児協あこう」を発行するにあたり、編集会議を重ね、見やすい紙面づくりに心がけてきました。今号では、この3年間の活動を振り返るの感想などを中心に掲載しています。これからも市民の皆様のおかげで、引き続きまいります。

編集委員

部長

松田 利一
久須 律子
米野 征也
服部 洋子
丑田 洋二
大田 登
河上 俊之
亀井紀代子
中森 逸彌
米田 絹子
中田 宣子
出口 卓
浦池 伸朔
前本美奈子